



マリンビジョンコンテスト受賞 7/16

地域の優れたマリンビジョンの取り組みを表彰する『マリンビジョンコンテスト2012』で、三石地域マリンビジョン推進協議会が、北海道マリンビジョン21促進期成会会長賞を受賞しました。
これは、ひだか漁協三石地区青年部が、地域の漁業に関心を持ってもらおうと、町内小学校などで行っている「出前授業」の取り組みが高く評価されたものです。実際の漁を見たり、生の魚に触れたりするなど、趣向を凝らした授業を行っています。



第19回みついし蓬萊山まつり 7/7

『第19回みついし蓬萊山まつり』が蓬萊山公園で開かれ、蓬萊山を渡す巨大しめ縄を背に、家族連れなど約6千人の来場者でにぎわいました。
よさこいソーラン踊りでは、地元の三石なるこ会や平岸天神など7チームが熱気あふれる踊りを披露したほか、染退太鼓や陸上自衛隊第7音楽隊の演奏、葛城ユキさんの歌謡ショーも行われ、会場から大きな拍手が送られました。来場者は、さまざまなイベントを通し、初夏のひとときを楽しみました。



第12回みついし花き振興会切花品評会 7/4

花き栽培農家で作る、みついし花き振興会（道下潔会長）による『第12回切花品評会』が本桐基幹集落センターで開かれました。
品評会は、花き栽培の技術・品質向上や市場関係者との情報交換、消費者へのPRを目的に毎年開かれ、今年で12回目。デルフィニウムやスターチスなど86点の切花が出品され、花き市場関係者などが花の形状や色合い等を審査した結果、宮田直希さんのデルフィニウムが最優秀賞に選ばれました。

ニュースフラッシュ

まちのできごと、話題をお届けします。



静内農業高校馬術部全国大会出場挨拶 7/18

7月23日から25日に静岡県で開かれる『第47回全日本高等学校馬術競技大会（団体の部）』に出場を決めた静内農業高校馬術部の選手が、役場静内庁舎を訪れ、富田副町長に健闘を誓いました。
主将の中脇剛くん（3年）は「昨年も全国大会に出場し、大会の空気には慣れている。冷静に競技に集中し、良い成績を残したい」と抱負を述べ、富田副町長は「勝利の報告を待っています」と激励しました。



白寿祝状授与 7/16

下斗米キヨさん（三石越海町）が白寿を迎え、入院先の三石国保病院で、酒井町長から祝い状、町社会福祉協議会・川越会長から記念品が贈られました。
下斗米さんは旧三石町出身で、昭和10年に故・喜三郎さんと結婚し、5男1女に恵まれました。長寿の秘訣は、人と話すことと、くよくよしないこと。
この日は、子どもや孫がお祝いに駆けつけ、99歳の誕生日を祝いました。



第63回社会を明るくする運動 7/5

静内地区保護司会静内分区などによる「社会を明るくする運動」のセレモニーがピュアプラザで開かれ、約160人が参加し、犯罪や非行のない明るい地域づくりをアピールしました。
セレモニーでは参加者を代表して、静内高校ボランティア局の関口祥子局長と静内農業高校の熊谷朱里生徒会長が「犯罪のない明るい社会の実現」に向けて「地域住民が、安心して暮らせる町づくりを目指し、取り組んでいきたい」と決意表明しました。



わんぱくチャレンジスクール「施設見学」 6/22

町教育委員会による『わんぱくチャレンジスクール 施設見学』が開かれ、町内の小学校3～6年生の児童34名が参加し、むかわ町立穂別博物館とむかわ町穂別地球体験館を見学しました。
博物館では、穂別地区で発見された化石から全身復元された「クビナガリュウ」や直径約1メートルのアンモナイト等を見学。参加した児童は、熱心にメモを取りながら、施設見学を楽しみました。



災害時の機器提供に関する協定 7/12

町と株式会社共成レントム静内営業所（佐藤潤所長）は、災害時における機器の提供に関する協定を締結しました。酒井町長は「町の防災活動において心強い存在ができました」と感謝を述べました。



アメリカンフラワー 6/6～7/4

文化講座『アメリカンフラワー』が町公民館で開かれ、14名が参加し、あじさいとポピー作りに挑戦しました。ペンチを使って、ワイヤーを曲げながら、一つ一つ丁寧に花びらを作り上げました。



たのしい算数教室 6/29-30

『たのしい算数教室』が町福祉センターで開かれ、町内の小学校4～6年生11名が参加しました。パズルやゲーム、クイズなどを交えた教室で、参加者は楽しく算数を学びました。



祝 静内消防設立100周年記念式典・祝賀会 6/28

静内消防設立100周年を祝う記念式典・祝賀会が町公民館で開かれ、関係者約200人が出席し、1世紀の歴史を刻んだ静内消防の節目を祝いました。